

3 木材価格の動向

(1) 素材価格（丸太価格）（表25、図15）

令和7年の品目別の価格の動向は次のとおりである。

ア 「まつ中丸太」（径24.0～28.0cm、長3.65～4.0m）は、3月から8月まで低下傾向で推移したものの、9月からは上昇傾向で推移し、年平均では1万4,500円（1m³当たり。以下、イからエまで及び(2)アにおいて同じ。）となった。

イ 「すぎ中丸太」（径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）は、年間を通して比較的安定して推移し、年平均では1万5,400円となった。

ウ 「ひのき中丸太」（径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）は、4月から低下傾向で推移し、年平均では2万5,300円となった。

エ 「からまつ中丸太」（径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）は、年間を通して比較的安定して推移し、年平均では1万5,400円となった。

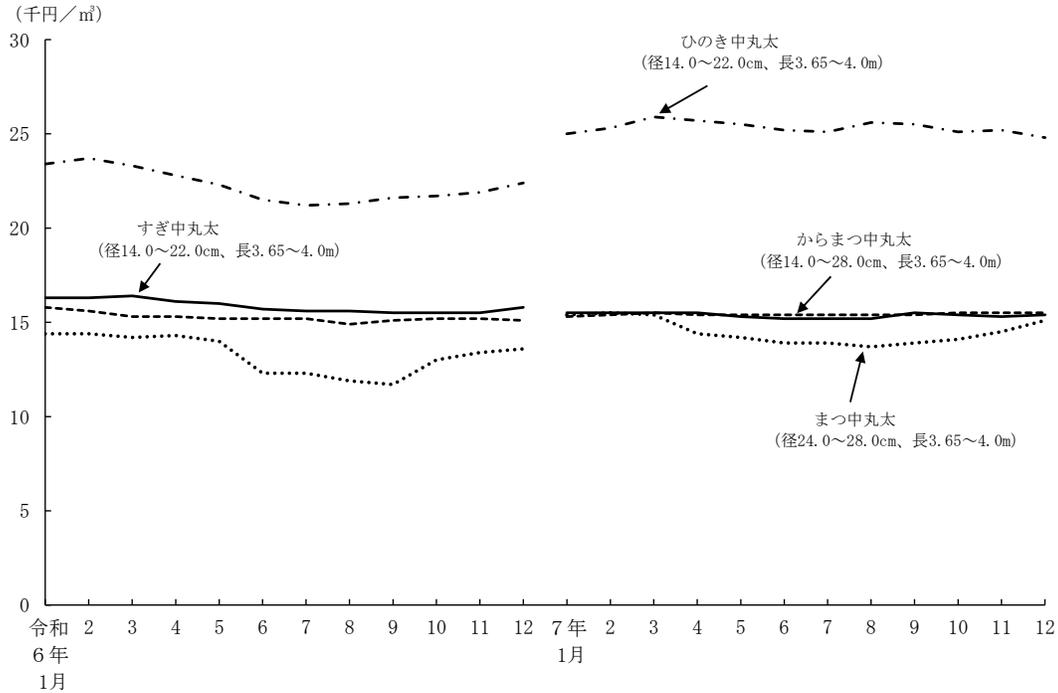
表 25 素 材 価 格

単位：円/m³

年 次	ま つ	す ぎ	ひ の き	か ら ま つ
	中 丸 太	中 丸 太	中 丸 太	中 丸 太
	径 24.0～28.0cm 長 3.65～ 4.0m	径 14.0～22.0cm 長 3.65～ 4.0m	径 14.0～22.0cm 長 3.65～ 4.0m	径 14.0～28.0cm 長 3.65～ 4.0m
	込 み	込 み	込 み	込 み
平均価格				
令和6年	13,300	15,900	22,300	15,300
7	14,500	15,400	25,300	15,400
対前年差	nc	nc	nc	nc

注： 令和7年1月から、令和5年の素材・木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しを行ったことから、令和6年以前の数値とは接続しない（以下の図表ともに同じ。）。

図15 素材価格の推移



(2) 木材製品卸売価格 (表26、図16、図17)

令和7年の品目別の価格の動向は次のとおりである。

ア 製材品

- (ア) 「すぎ正角」(厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m)は、4月に上昇したものの、5月から低下傾向で推移し、年平均では5万2,500円となった。
- (イ) 「ひのき正角」(厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m)は、4月に上昇したものの、その後は比較的安定して推移し、年平均では8万1,300円となった。
- (ウ) 「すぎ間柱(乾燥材)」(厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m)は、4月まで上昇傾向で推移したが、5月から低下傾向で推移し、年平均では8万2,400円となった。

イ 合板

「針葉樹合板」(厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m)は、年間を通して比較的安定して推移し、年平均では1,400円(1枚当たり。)となった。

表26 木材製品卸売価格

年次	すぎ正角	ひのき正角	すぎ間柱 (乾燥材)	針葉樹合板
	厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 3.0 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 1.2 cm 幅 91.0 cm 長 1.82 m
	2 級	2 級	特等	1 類
平均価格	円/m ³	円/m ³	円/m ³	円/枚
令和6年	51,800	74,800	84,300	1,570
7	52,500	81,300	82,400	1,400
対前年差	nc	nc	nc	nc

図16 製材品価格の推移

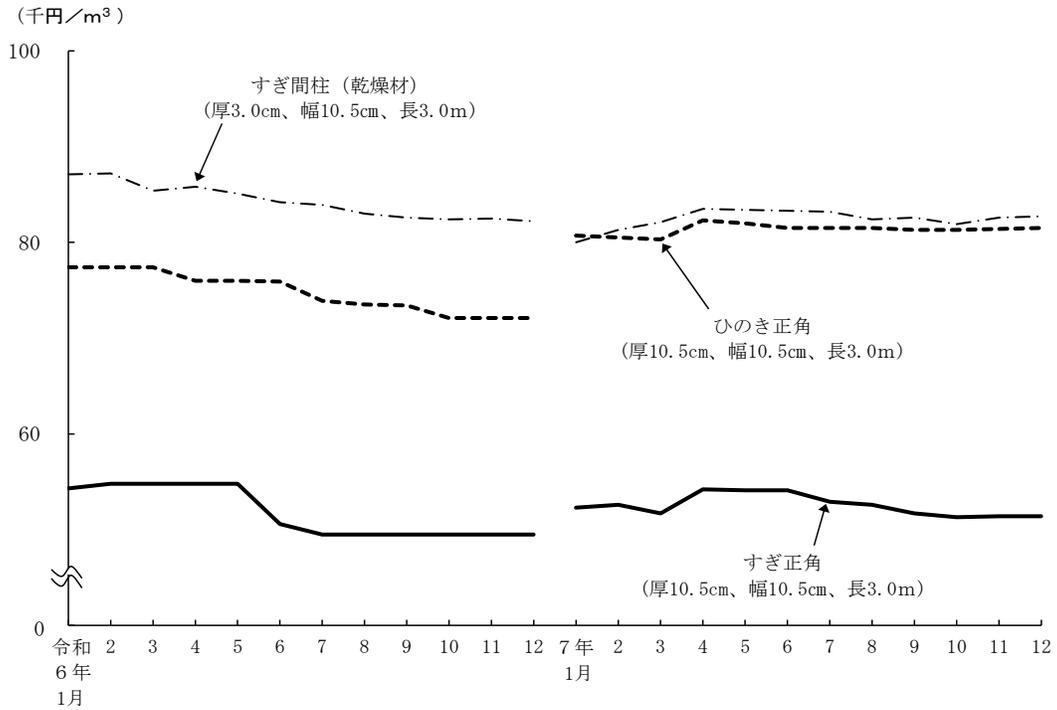
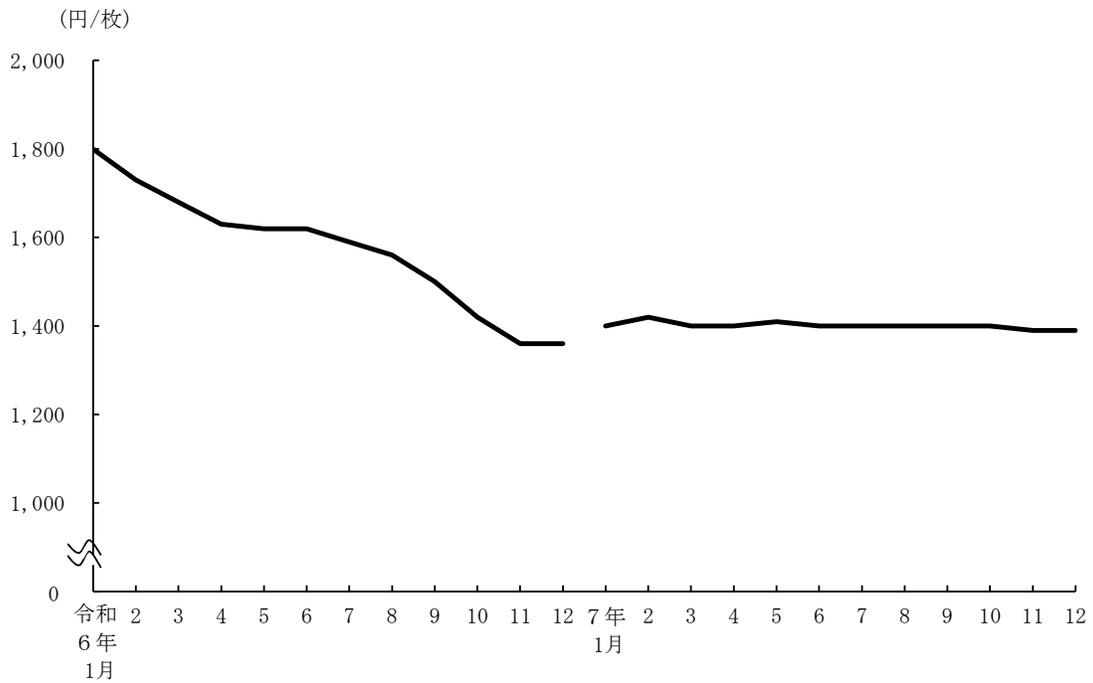


図17 針葉樹合板価格の推移



(3) 木材チップ価格 (表27、図18)

令和7年の平均価格は、針葉樹は5月まで、広葉樹は6月まで上昇傾向で推移したが、その後は針葉樹、広葉樹ともに横ばいで推移し、針葉樹は、年平均では1万8,200円(1t当たり。以下同じ。)、広葉樹は、年平均では2万2,900円となった。

表27 木材チップ価格(パルプ向け)

単位：円/t

年次	針葉樹	広葉樹
平均価格		
令和6年	17,700	21,900
7	18,200	22,900
対前年差	nc	nc

図18 木材チップ価格の推移

